

市議会だより

第18号

平成20年(2008)8月15日発行

発行・飯山市議会
編集：市議会だより編集委員会
〒389-2292
長野県飯山市大字飯山1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-0005
インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/>
E-mail: gikai@city.iiyama.nagano.jp

6月定例会

開催される

平成20年6月定例会は6月9日から25日までの会期で行われました。

今定例会では平成20年度一般会計補正予算(総額7963万3千円)・平成20年度国民健康保険特別会計補正予算(総額2千円)の補正予算案2件、平成19年度各会計の専決処分事項など事件案17件、条例改定案8件の27議案が市長から提出されました。16日から18日の一般質問には13名の議員が登壇し、19日から20日に総務・社会文教・産業建設委員会で審議、最終日25日に原案のとおり可決・承認しました。

また、陳情1件を採択し、意見書を可決しました。

一般質問

6月定例会にて13名の議員が一般質問を行いました。

市民と行政が一体となって「もったいない運動」の推進を



小林初子議員

【質問】「もったいない運動」を世界に広めているワンガリ・マタリ博士は、先頃開催された「第二回もったいない全国大会」で「資源は有限であり資源のムダ遣いの上に平和は成り立たないこと、地球温暖化の90%は人間の活動による」という報告結果から、森林を守るということが重要であること、ショッピングバッグや自転車など何か一つ「もったいない」の実践が重要であることなどを訴えているが、

お年寄りが

安心できる施策を



高橋正治議員

な対象として接種しているようである。ワクチン効果の持続期間は5年でピーク時の8割に低下するが、5年以後も効果は残ると言われている。これからの医療は疾病予防が重要と考え公的助成を導入する自治体も出てきているが、高齢化率の高い当市においてワクチンの助成はできないか。

【市長】安全第一であるので、国の感染症対策の今後の検討結果により考えていきたい。

【質問】国保、組合健保、政管健保などに加入していた75歳以上の高齢者すべてが、加入していた健保から脱退させられ、高齢者だけの独立健保に強制加入させられたことによる怒りの声と、この制度の中止、廃止の声が広がっている。今声を上げることが求められるが。

【市長】2年間と言う期間があったのに、その間に十分な説明を

【市長】国の財政問題もあるが、消費税等の値上げについてははつきり反対ということを上申上げたい。

【質問】国保推進委員会が組織され、そこに3つの検討部会が設置されているが、選出の基準と構成について。2点目に識見者はどのように選考したのか、3点目に、新中学校の校名の募集がおこなわれているが、どのくらいの応募があり、どのような名称が寄せられているのか。

【教育長】3つの部会があり、選出基準は直接現場の教員や職員、保護者を選出し、他に地域代表や小学校の代表も加わっている。



第一中学校

人形館の建設について

【質問】人形館建設の目的、建設予定地の選定の経過、常設展示の予定、人形は寄付を受けるものなのかどうか。2点目として人形作家の高橋さんとの合意はできているのかどうか。3点目として、建

新幹線開業を控え

市民一丸となった受け入れ態勢を



水野英夫議員

【質問】新幹線開業を間近に控え、農業と観光の振興を市長は謳っているが、市民一丸となった受け入れ態勢と市民へのアピールはどのようにするのか。

見込んでいる。高齢者だけの世帯については600戸位であると思込んでいる。内300戸は2人が対象であり、残りの300戸は1人が対象であり1人は国保に残る世帯であると見込んでいる。

サラリーマン家庭の被扶養保険者は1200人位と見込んでいる。窓口支払い者は7月中旬ごろ明らかとなるが、見込は60人位と思う。障害者は現在17人が希望無しとの意思表示があった。



後期高齢者受給者証

行政サービスは公平に



久保田幸治議員

【質問】今年度の市の健診日程を見ると、岡山、富倉、外様地区では乳がん、肺がん、子宮ガンの健

診が行われない。他の地区では健診が行われており、同じ市民でありながら不公平と感じる。これは、健診に限ったことではない。国も、県も効率を求めて飯山市から行政等のサービスを引き上げようとしているが、行政サービスが平等に受けられない地区には住めない、益々過疎化に拍車がかかり、限界集落が増加していく。市長は、この後の市の運営をどのように考えて行くのか。

【市長】あくまでも市民平等が原則である。ご質問をお聞きして、深く反省をしている。少子化、医師不足等の中で全てがそのまんまとはいかないが、市民の健康に関するものについては、十分に配慮しなければならぬ。場合によっては、市のバス等での送迎も一つの手段かと考えている。万全の体制であらう。内容を十分調査して、少く状況を把握した中で対処していきたい。

県では建設事務所、保健所等現地機関の見直しを検討されている。現地機関の廃止は絶対反対である。県には伝えてある。飯山市としてどうしても譲れないものについては、早くから取り組むべきだ。県議さんとも協議を重ねて、市民の付託に答えていきたい。

【質問】平成20年度の重点施策の

政治姿勢と 教育行政について



小林喜美治議員

消費税の増税計画について

【質問】財務省の財政制度審議会は、新年度予算編成に向けた意見書を提出したが、そこには、「税体系の抜本的改革」と称し、社会保障費の抑制路線を明記しつつ、大幅な消費税の増税を求めているが、市長の見解を伺いたい。

行ってこなかった責任は国にあると思う。地方をあくまで後援として痛感しており、安心して老後を送れるようにすることが望ましい。姥捨山施策はやめてほしい。国においても無駄遣いを正して欲しいし、私の思いは、お年寄りの皆さんが安心して暮らす施策をお願いしたい。もつと国政の場で論議していただきたいし、そのことを期待したい。

【質問】制度スタートにあたり、窓口に対する苦情の現状はどうか。

【部長】4月当初には1日40件位あった。主なものは、制度上の不理解からのもの、年金からの保険料天引きについてとか保険証などについてであり、現段階では、窓口への苦情はほとんど無くなっている。

【質問】4月から年金引きとなる国保加入者数と構成内容、サラリーマンの扶養家族となる被扶養保険者数、保険料窓口支払いとなる普通徴収者数は。65歳以下74歳までの障害者の皆さんについては新制度の加入対象者であるが加入する、しないは本人の意志によるとなっているが、現状はどうか。

【部長】国保世帯3500戸で加入者数は4400人でその内新制度加入対象者は3000人位と

設委員会の構成について、職名で委嘱したとのことであるが、公募はおこなったのか。4点目として、市民から寄せられている意見についてどう受け止めているのか。市民との合意形成をはかる機会を補償されているのか。

【教育長】寄付はないものと承知している。高橋さんとの合意はできているものと承知している。建設委員会の構成は、観光施設として市の活性化、市民の文化・交流の場としての施設として、より良い施設とするため、関係者の意見を頂こうとするものである。